



介護保険改悪ストップの大きな一歩

杉並区議団の申し入れ実る 「総合事業」導入しない方向へ

今年六月、介護保険法改定法案が成立し、要支援者に対する介護保険サービスの取り上げが大きな問題となっていました。改定により、自治体の判断次第で、介護サービスの質が大きく左右される状況でしたが、杉並区では、介護サービス取り上げに道を開く「総合事業」の導入を行わない方向を示しました。介護保険改悪に歯止めをかける重要な前進です。

今回の改定では、自治体の判断で「介護予防・日常生活総合支援事業」（以下・総合事業）を創設することができ、総合事業を導入した自治体は、要支援者へのサービスを、今まで通りの介護保険のサービスで行うか「総合事業」で行うか、選択することができます。総合事業は、全国一律の基準に基づき、介護保険給付とは異なり、サービスの質が著しく低下する可能性もあり、介護現場や利用者から不安の声が上がっていました。

介護保険 区民学習会

- 9月7日（水）
- 産業商工会館
1F 展示室
- 講師 齊藤稔さん
医療法人社団健友会
介護福祉事業部長
中野区保健福祉審議会委員
ぜひ、ご参加下さい!

こうした事態を受け、杉並区議団は「総合事業そのものを導入しないよう」区に申し入れを行い、私が所属する「介護保険運営協議会」でも、問題点を指摘してきました。

介護保険改定の特徴

- 介護予防・日常生活総合事業の創設
上記参照
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
現在の訪問介護では、重度の高齢者の在宅介護は支えられないとして設けられた。実際は、要介護者の安心を保障するには程遠い実態になっており、現場で危惧される様々な問題や介護労働者不足の現状で、絵に描いた餅になりかねないと指摘されている。
- 介護職員の医療行為（たんの吸引等）可能に
介護職員の医療行為の解禁に道を開くもので、現場の職員から不安の声が寄せられている。
- 財政安定化基金の取り崩し可能に
基金を適切に取り崩し、保険料負担の軽減を行えるかが、大きな焦点になっている。

「保険あって介護なし」の現状 早急な改善を求める

杉並区では来々四月からの介護保険事業計画策定を進めており、その計画に「総合事業」を入れるかどうか最終的な決定になります。八月三十一日に行われた「介護保険運営協議会」でも、総合事業の導入を行わない方向に歓迎の意見も出されました。

「保険あって介護なし」の現状を改善するためには、国庫負担の新たな投入が不可欠であり、国の責任を明確にすることが必要です。介護保険の改悪を許さず、安心して受けられる介護サービスの拡充を求めていきます。

第三回区議会定例会（9月議会）が始まります

**区民の生活を守る区政へ
みなさんの要望を議会へ届けます**

九月七日（水）から第三回杉並区議会定例会が始まります。今回の議会では、震災対策、区議団独自に行なった放射線量測定を踏まえての放射能対策、保育・子供園問題、介護保険や国保問題、外環問題、杉並区基本構想などを取り上げます。

この間、杉並区内の様々な団体とも懇談を持っており、それぞれの団体から寄せられた意見や要望も取り上げます。ぜひ、みなさんのご要望をお寄せ下さい。

決算特別委員会が行われます

今回の定例会では、平成二十二年度各会計決算を審議する特別委員会が開かれます。前区長山田区長在任時の予算に対する決算です。前区長の下、福祉サービスなどは次々と後退し、区民生活は深刻化しました。区民の暮らしに対応する決算となったかどうか、厳しく追及する必要があります。私にとっても初めての委員会です。全力で取り組みます。

山田耕平 議会スケジュール

- 9月7日～13日 本会議
- 9月15日 保健福祉委員会
- 9月26日 道路交通対策特別委員会
- 9月28日～10月6日 決算特別委員会
- 10月7日 議会運営委員会 本会議

※開会は全て、午前10時からです。

※傍聴にお出かけの際は、区議団控室へお立ち寄り下さい。資料をお渡します。

今週の一こま

**我が子は大食らい
特にスイカが大好物**

最近、子どもの食事の量が増えています。大人顔負けの量をペロリと平らげるので、頼もしい一方、肥満にならないか多少の不安もあります。いつまでも食べ続けるあたりは、父親に似たのでしょうか…。

特に果物が大好物で、この夏も人生初めて、スイカの美味しさを知り、必死に（笑）食べていました。

少食や偏食の子どもが増えている昨今、このまま好き嫌い無く育ててほしいものです。



私の姪っ子もかなりの少食ですが、息子の大吃らい振りを目の当たりにして、負けじとたくさん食べ始めました。

写真は必死の形相でスイカにむしゃぶりつく息子です。

四宮森公園 放射線量測定の詳細

8月26日にも再調査

日本共産党杉並区議団が、専門家の協力のもと行なっている放射線量調査で、四宮森公園の土壌の一部分から平均0.4~0.5 $\mu\text{Sv/h}$ の放射線量が測定されたことを受け、8月26日に再度の調査を行いました。

再調査の結果も、19日の調査と、ほぼ同様の数値が検出されました。区の危機管理室に改めて、緊急の除染等の対応を求めます。公園内の放射線量測定の結果は下記です。

公園の施設名	独自測定	
	場所（地表5cm）	$\mu\text{Sv/h}$
四宮森公園 （上井草 2-41-25）	公園中央	0.064
	北側入口	0.086
	水路内	0.112
	水路内苔	0.121
	池横側溝泥	0.148
	トイレ横	0.094
	児童館裏排水溝の横	0.121
児童館裏南側・落葉	0.505	

日本共産党の測定機器：アロカ株式会社製 PDR-101